

第4章 プログラムの効果と提言

裨益効果

「ジョ」国に対する2KRプログラムは1993(平成5)年度から始まり1997(平成9)年度まで継続的に実施され、その供与実績は累計で21億円となっている。過去の2KRでの調達実績の概要は表4-1に示すとおりである。

主な調達品目は肥料、農業機械、建設機械、車両であり、なかでも乗用トラクターとその作業機が中心となっている。これら調達資機材は、一般農家へ販売され同国の農業機械化に寄与し主要作物の増産に裨益することを目的としている。

表4-1 「ジョ」国の2KRにおける資機材の調達実績

供与年度	供与金額	主要調達品目
1993(平成5)年度	4.0億円	農業機械(乗用トラクター:120台、トラクター-用作業機)
1994(平成6)年度	5.0億円	肥料(TSP:2,500t、SOP:2,006t) 農業機械(乗用トラクター:180台、トラクター-用作業機) 車両(ピックアップ:10台)
1995(平成7)年度	5.5億円	肥料(尿素:1,000t、硫安:300t、SOP:2,500t、TSP:1,500t) 農業機械(乗用トラクター:188台、トラクター-用作業機、種子選別機:8台、ハインダー:19台) 車両(ピックアップ:5台)
1996(平成8)年度	4.0億円	肥料(尿素:352.7t、硫安:158.35t) 農業機械(乗用トラクター:157台、トラクター-用作業機) 建設機械(ブルドーザ:2台、油圧ショベル:1、ホイローダ:2台、削岩機:1台) 車両(ダンプトラック:4台、カゴトラック:4台)
1997(平成9)年度	2.5億円	肥料(尿素:6,000t、硫安:3,000t) 農業機械(トラクター-用作業機) 建設機械(ブルドーザ:1台)

(出典:2KR調達実績データベースより作成)

提言

1997(平成9)年11月に実施された現地調査によると、一般農家に販売される予定であった2KRで調達された肥料及び乗用トラクターが、多量に売れ残っていることが判明した。この在庫になった理由が、販売価格が高額に設定されていたのか、また、他に理由があるのか、原因を調査したうえで「ジョ」国の資機材需給バランスをモニタリングし、今後の2KRでの資機材調達を検討していくことが重要と考えられる。